

講義科目名称： 精神保健の課題と支援Ⅱ

授業コード： 21031075

英文科目名称：

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
後期	3	2	選択
担当教員			
山中 達也			
区分	科目番号	曜日・時限	
		木曜 2限	
添付ファイル			

対象学生			
授業の目的	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神保健の実際および精神保健福祉士の役割について理解する。 2. 精神保健を維持・増進のための専門機関や関係職種の役割と連携を理解する。 3. 精神疾患の経過における精神保健的かかわり方、疾患の実際と援助方法について学ぶ。 4. 諸外国の精神保健活動の現状について理解する。 		
学士力A	知識理解力		
学士力A (ウエイト)			
学士力B	思考		
学士力B (ウエイト)			
学士力C	態度・志向性		
学士力C (ウエイト)			
学士力D			
学士力D (ウエイト)			
学士力E			
学士力E (ウエイト)			
学士力F			
学士力F (ウエイト)			
学士力G			
学士力G (ウエイト)			
学士力H			
学士力H (ウエイト)			
到達目標No. 1	地域精神保健における基本的な知識体系を身につけるとともに、その意味を自分の将来とも関連づけて総合的に理解することができる。		
到達目標No. 1 (学士力対応)			
到達目標No. 2	精神保健の視点から状況を考察し、意見を述べることができる。		
到達目標No. 2 (学士力対応)			
到達目標No. 3	精神保健について理解したうえで、自分自身と向き合い、人とかかわることができる。		
到達目標No. 3 (学士力対応)			
到達目標No. 4			
到達目標No. 4 (学士力対応)			
到達目標No. 5			
到達目標No. 5 (学士力対応)			
成績評価の方法	評価の方法	割合 (%)	評価の基準
	目標No. 1	40%	授業内の発言、発表、課題レポート

	目標No. 2	20%	毎回のリアクションメール
	目標No. 3	40%	授業内の参加姿勢・態度
授業の方法	<p>授業の内容や状況によっては、オンラインシステム(Zoom)を使った遠隔による双方向対話型の授業を実施します。なおZOOMのURLについては、本講義履修登録者全員にGoogleclassroomを活用してお知らせします。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 双方向対話型講義や視聴覚教材等を用いながらみなさんとともに授業を作り上げていきます。 2. 毎回リアクションペーパー記入をお願い、翌週にコメントを記入してお返しします。 3. みなさんから寄せられた疑問や質問、に対しては、可能な限り次のセッションで一緒に考えたり、ディスカッションの素材に活用したりします。 4. プレゼンテーションやペア、グループ、全体での話し合い、ロールプレイ等の実践的な方法を体験できるように工夫します。 5. 外部講師をお招きし現場での学びや当事者の声を活かした授業を行います。 6. 学外の研修会や講演会、関係機関におけるボランティア情報等をお伝えします。 7. 学生が主体的に企画、実践できる場面の創造に協力したいと思います。(参考:2023度は山梨ダルクデイケアセンターメンバーとの「スポーツ交流会」、県内の関係機関とともに「精神保健福祉市民セミナー」を企画・開催しました) <p>【Googleclassroom】クラスコード:fbikoj4 https://classroom.google.com/c/NjcxNDkxODEzMdc3?cjc=fbikoj4</p>		
受講に際して・学生へのメッセージ	<p>・精神保健福祉士課程の必修科目となっています。</p> <p>・精神保健福祉士課程を希望する方はもちろんのこと、社会福祉士課程、介護福祉士課程の学生も、ぜひ積極的に履修なさってください。</p> <p>今年度も「精神保健の課題と支援Ⅱ」を担当する山中達也(精神保健福祉士・社会福祉士)です。これまで精神保健福祉センターや児童相談所、社会福祉協議会等においてソーシャルワーカーとしての実践を積み重ねてきました。</p> <p>この授業ではみなさんと一緒に考え、話し合う双方向対話型の授業を行います。さらに将来対人援助専門職者をめざすみなさんに、現場実践で生かすことができる内容を展開したいと考えています。</p> <p>精神保健福祉士課程の学生はもちろん、社会福祉士、介護福祉士等、「人を援助すること」に関心のあるみなさんの積極的な参加を期待します。</p> <p>みなさんと一緒に学びながら、ともに授業を創る時間を楽しみにしています。</p>		
教科書	テキスト	授業内でお伝えします。	
	参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校『最新精神保健福祉士養成講座2 精神保健の課題と支援』(中央法規、2021年、3,000円) ・窪田暁子『福祉援助の臨床 共感する他者として』(誠信書房、2013年、2052円) ・山田ズーニー『おとなの小論文教室』(河出書房新社、2006年、1404円) ・村田久行『改訂増補 ケアの思想と対人援助』(川島書店、2000年、2484円) 	
授業計画の概要	1		
	タイトル	オリエンテーション・わかちあい	
	授業内容		
	事前学習		
	事後学習		
	2		
	タイトル	人を支援する専門職のメンタルヘルス①「私」メンテナンス	
	授業内容		
	事前学習		
	事後学習		
	3		
	タイトル	人を支援する専門職のメンタルヘルス②バーンアウト(もえつき症候群)	
	授業内容		
	事前学習		
	事後学習		
	4		
	タイトル	人を支援する専門職のメンタルヘルス③専門職のためのセルフケア	
	授業内容		
	事前学習		
	事後学習		
	5		

タイトル	人を支援する専門職のメンタルヘルス④「私」と「他者」とのちがいを考える
授業内容	
事前学習	
事後学習	

6

タイトル	地域精神保健における対策と精神保健福祉士の役割①アルコール関連問題
授業内容	
事前学習	
事後学習	

7

タイトル	地域精神保健における対策と精神保健福祉士の役割②家族の課題と支援
授業内容	
事前学習	
事後学習	

8

タイトル	地域精神保健における対策と精神保健福祉士の役割③回復者から学ぶアクション
授業内容	
事前学習	
事後学習	

9

タイトル	地域精神保健における対策と精神保健福祉士の役割④現場のソーシャルワーカーから学ぶ
授業内容	
事前学習	
事後学習	

10

タイトル	地域精神保健の視点からみた現代社会①トラウマからの回復を視点するために
授業内容	
事前学習	
事後学習	

11

タイトル	地域精神保健の視点からみた現代社会②災害被災者と精神保健士の支援
授業内容	
事前学習	
事後学習	

12

タイトル	地域精神保健の視点からみた現代社会③勤労者の課題とアプローチ
授業内容	
事前学習	
事後学習	

13

タイトル	地域精神保健の視点からみた現代社会④代理受傷・共感疲労
授業内容	
事前学習	
事後学習	

14

タイトル	精神保健に関する諸活動①地域連携と専門職の役割
授業内容	
事前学習	

	事後学習	
	15	
	タイトル	精神保健に関する諸活動②資源開発・創造
	授業内容	
	事前学習	
	事後学習	
実務経験のある教員による授業科目の概要	社会福祉士・精神保健福祉士 ソーシャルワーカーとしての実務経験を活かして、当該科目の理論や演習等と統合させながら教育します。	
備考		